



## 「第7回家庭学習とことん期間!!」

今週は、夜須中学校区合同で、第7回家庭学習とことん期間（13日～19日）を実施しています。低学年20分、中学年40分、高学年60分の家庭学習の確保と宿題が終わっても予習、復習に取り組むようにしています。学校では、子ども達への声かけを大切にしています。ご家庭でも、やる気の出る声かけをお願いいたします。

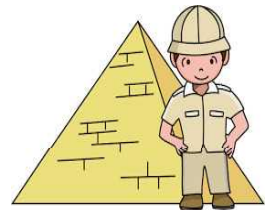
そこで、今回は、予習とは何か、復習とは何かについて、お話しをしたいと思います。

### 予習って、どんな効果があるの？

例えば、明日、エジプトに旅行に行くとしたら、どうされますか。大きく二つに分かれると思います。一つは、とりあえず行ってみる、もう一つは、知らないところに行くので、ガイドマップでしっかり調べる。ガイドマップで調べると、ピラミッド、スフィンクス、ルクソール神殿、王家の谷・・・知らない所ばかりですが、調べていくうちに、なんとなくどこに何があるのかが分かってきます。すると、明日が来るのが待ち遠しくなります。

例えば、明日、三角形の面積を学習するとします。ガイドマップである教科書を使って、事前に、三角形の面積の求め方を調べるとなんとなく三角形の面積の求め方が分かってきます。しかし、なぜ、最後に $\div 2$ にするのかは、自分では説明できません。でも、分からないところが明確なので、早く学校に行行って勉強したいという気持ちが沸いてきます。

このときに大切なことは、問題が解けなくてもいいんです。予習をすることで、明日何を学習するのかがわかればよいのです。自分がどこが分からないかが分かったら、申し分ありません。すると、明日が来るのが待ち遠しくなります。



### 復習は、必要なの？

実は、「予習と学習の定着は比例関係にはない」というデータがあります。ということは、予習をどんなに頑張っても、必ず、学習が定着するとは言えないということになります。学習を定着するためには、反復練習しかありません。

学校通信10号でもお話したように、脳科学的には、「人間の脳は、長い時間かけて学習したことは重要でない」と認識し、短い時間に繰り返し学習したことは重要だと認識する」と言います。これを三角形の面積の学習にあてはめると、学校で1時間かけて学習した三角形の面積の求め方はその時は理解するが、しばらくすると忘れてしまう。しかし、繰り返して練習することで定着するということになります。どんなに授業中に理解しても、繰り返して練習をしないと学習が定着しないということです。学習の定着には、やはり反復練習あるのみです。

もちろん、予習と復習がセットになれば、効果は絶大です。

